



## 平成21年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年12月22日

上場会社名 富士エレクトロニクス株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 9883 URL <http://www.fujiele.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 息 栖 清  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部門担当 (氏名) 木下 晴夫 TEL (03)3814-1200  
 兼経理部長

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年2月期第3四半期の連結業績 (平成20年3月1日～平成20年11月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	33,236	1.8	2,370	8.6	2,496	7.7	1,389	1.5
20年2月期第3四半期	32,648	△7.9	2,183	△16.8	2,317	△23.4	1,369	△20.8
20年2月期	44,150	—	2,979	—	3,072	—	1,501	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	90	50	—	—
20年2月期第3四半期	84	69	84	66
20年2月期	93	47	93	45

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期第3四半期	29,323		20,465		69.3	1,328	19	
20年2月期第3四半期	26,790		20,627		76.5	1,267	58	
20年2月期	29,531		20,026		67.4	1,279	19	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年2月期第3四半期	1,518		124		△1,090		5,714	
20年2月期第3四半期	1,292		△485		△1,373		4,623	
20年2月期	1,564		△516		△1,020		5,161	

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年2月期	—	—	40	00	40	00
21年2月期(実績)	—	—	—	—	40	00
21年2月期(予想)	—	—	40	00	—	—

3. 平成21年2月期の連結業績予想（平成20年3月1日～平成21年2月28日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	44,600	1.0	3,041	2.1	3,381	10.0	1,975	31.5	128	71

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[ (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。 ]

(参考) 個別業績の概要

1. 平成21年2月期第3四半期の個別業績（平成20年3月1日～平成20年11月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	26,709	△12.4	1,929	△2.9	2,057	△2.7	1,134	△8.4
20年2月期第3四半期	30,487	△8.5	1,986	△16.1	2,114	△23.5	1,238	△24.1
20年2月期	40,061	—	2,705	—	2,935	—	1,717	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	73	89	—	—
20年2月期第3四半期	76	59	76	56
20年2月期	106	91	106	88

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年2月期第3四半期	24,720		19,188		77.6		1,253 64	
20年2月期第3四半期	25,019		19,226		76.8		1,188 93	
20年2月期	25,676		19,013		74.0		1,222 42	

2. 平成21年2月期の個別業績予想（平成20年3月1日～平成21年2月28日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	36,000	△10.1	2,559	△5.4	2,942	0.2	1,727	0.5	112	55

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の国内経済は、米国金融市場問題に端を発する世界的な景気後退懸念の中、10月以降は企業の設備投資や輸出の減速傾向が鮮明になってきており、個人消費も冷え込むなど先行き極めて厳しい局面が予想されます。

半導体市場は、WSTS(世界半導体市場統計)の11月18日付発表によれば世界全体で2008年は前年比で2.5%増と、春季予測の4.7%増から下方修正され、2009年は2.2%減と2001年のITバブル崩壊後はじめてマイナス成長予測となっております。日本市場は円高の影響も加わり、2008年は8.5%減、2009年も2.6%減と2年連続のマイナス成長という厳しい予測となっております。

このような状況下、業績の太宗を占める単体においては、宇宙関連向けが上期に引き続き好調でした。一方で、上期順調に推移した民生機器向けは生産調整に入り、昨年大口納入のあった情報機器向けや無線機器向けは反動で落ち込み、主力の産業機器向けも設備投資減速の影響で振るわず、単体では売上、各利益とも前年同期を下回りました。

一方、連結子会社は全体では、好調な海外現法や新たな連結子会社の寄与により前年同期比で増加いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間(平成20年3～11月)の連結業績は、売上高332億36百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益23億70百万円(同8.6%増)、経常利益24億96百万円(同7.7%増)、四半期純利益13億89百万円(同1.5%増)となりました。

品目別売上高につきましては、個別半導体は新連結子会社分の増加により23億1百万円(前年同期比170.3%増)、集積回路は情報機器、通信機器及び産業機器向け等の不振により291億7百万円(同3.5%減)、機器機構品は新連結子会社分の増加により9億37百万円(同50.9%増)、システム製品は昨年好調であった医療機器向けの反動で4億77百万円(同18.4%減)、その他が4億13百万円(同0.9%減)となりました。

所在地別セグメント業績につきましては、日本は売上高325億46百万円、営業利益は27億32百万円、アジアは売上高23億63百万円、営業利益は1億32百万円、北米は売上高18億6百万円、営業利益は3億11百万円となりました。

なお、前第3四半期は所在地別セグメントを作成しておりませんので、当第3四半期との比較分析は行っておりません。

単体の受注・売上の四半期推移は下表をご参照ください。

## 単体の四半期別受注・売上推移

受注		前年比	前四半期比
前第1四半期(平成19年3～5月)	11,310百万円	102.5%	115.1%
前第2四半期(平成19年6～8月)	9,968百万円	90.0%	88.1%
前第3四半期(平成19年9～11月)	10,142百万円	100.5%	101.7%
前第4四半期(平成19年12～平成20年2月)	9,562百万円	97.3%	94.3%
当第1四半期(平成20年3～5月)	9,389百万円	83.0%	98.2%
当第2四半期(平成20年6～8月)	8,516百万円	85.4%	90.7%
当第3四半期(平成20年9～11月)	6,649百万円	65.6%	78.1%



















